

SKY コーナー

「2018 ITEA信越安全大会」開催

己の甘さと油断に“喝！”
～無くすのは、命でなく“危険”、守るのは会社でなく“家族”、
昨日までの、己の油断と甘さを断切ろう!!～

情報通信エンジニアリング協会 信越支部

(一社) 情報通信エンジニアリング協会信越支部主催、NTT東日本・NTTグループ各社様の後援により「2018 ITEA信越安全大会」を去る平成30年8月23日に長野市、9月19日に新潟市において開催しました(写真1)。本大会は、平成23年度にITEA信越安全大会としてスタートし、今回で8回目の開催となりました。

大会メインテーマを、『己の甘さと油断に“喝!”』とし、サブタイトルを『無くすのは、命でなく“危険”、守るのは会社でなく“家族”、昨日までの、己の油断と甘さを断切ろう!!』として、大会の冒頭で司会者より「昨年は、“仲間の安全”をテーマに事故撲滅に取り組んでまいりましたが、事故は完全になくなりませんでした。そこで、今年はまだ一度、“己(おのれ)”に立ち返るといふ思いを込めて本テーマとさせていただきます」という内容の説明を行いました。

また、前回大会に引き続き協力会社社員の皆さんから安全標語を募集

し、優秀作品に選出された「慣れるほど 忘れてしまうその危険 初心に戻って安全確認(長野大会)」「その作業 いったん止まって危険予知 気づかぬ危険が見えてくる(新潟大会)」を掲げて開催しました。

来賓にNTT東日本・NTTグループ各社の幹部の皆様をお迎えし、ITEA会員各社および協力会社の現場第一線の社員の皆さんが長野と新潟の2会場に集結し、約1,000名の参加となりました。

大会は、大会テーマの説明からスタートし、ITEA信越支部長の挨拶、来賓者様からのご挨拶・ご講演、外部講師による安全講演、危険体感デモ、安全ビデオの視聴を行い、最後に安全決意表明と参加者全員による安全唱和で幕を閉じました。また、屋外・ロビーでは展示ブースを設け、NTT東日本グループ会社様、通建会社様、メーカー様総勢22社による機械器具工具等の展示を行いました。

大会テーマ説明

昨年の大会に引続き、参加者全員の本大会に向かう意識を統一させるために、司会者より大会テーマ「己の甘さと油断に“喝!”」の説明を行いました。

小川支部長挨拶

主催者を代表して小川信越支部長から「安全文化の創造」と題して講話がありました(写真2)。

まず、信越および全国における人身・設備事故の発生状況について触れるとともに、「絶対に起こしてはならない事故」の状況、最近の人身事故の傾向、施工現場における安全の取組み、基本動作を徹底するためにしなければならないこと、また、すべての職場・すべての業務における安全の取組みについて説明しました。

信越の事故の分析では、元請各社の皆様や協力会社様など各社の真摯な取組みの結果、人身事故・設備事故・誤接続事故ともに“0件”を継続していること、この夏は大変な猛暑となり施工環境は例年にも増して厳しい状況でありながら無事故を継続しているということを本当にありがたいと思っていると述べました。また、全国の事故発生状況については、NTT東日本管内では人身事故



写真1 大会模様



写真2 小川支部長挨拶

は減少し死亡事故も発生していないという状況であり、通建会社を含めたNTTグループの人身事故の状況については、通建会社においてはNTT様のご指導もあり、東日本管内での事故はかなり減少しているとしながらも、通建会社以外での事故は横ばいもしくは増加傾向にあると述べました。その上、建物工事会社においては、すでにこの8月の時点で去年の件数を上回る状況となっていることを説明し、ここで私たちが意識しなければならぬこととして、「身近で事故が起こっていないということで安心するのではなく、全体を見ると事故は身近で起こっているということ」、「ひとつ油断をすれば、いつ事故を発生させたり巻き込まれたりしてしまうか分からないということ」を理解していたきたいと強く述べました。

次に、「絶対に起こしてはならない事故」の状況では、絶対に起こしてはならない事故を起こすと、死亡事故・重篤な事故で命を失う確率が非常に高いということをグラフで示し、NTT東日本管内の年間の推移から平成26年にはかなりの件数があったものの、その後NTT東日本様からご指導の結果、それ以降は減少している状況であるが全国的にはまだまだ横ばい状態から脱しておらず、特に高所からの転落事故は後を絶たない状況であると述べました。

次に、「最近の人身事故の傾向」では、絶対に起こしてはならない事故は減少しているが、命を落とすまで至らないものの、ちょっとした注意で防げる残念な事故が増加傾向となっていると説明し、「道路横断作業中の事故」、「第三者に被害を与えてしまう事故」、「伐採・草払い作業中の事故」、「脚立からの転落事故」および「重機や運搬中に挟まれる事

故」が発生している現状について述べました。中でも、重機作業等においては、専門業者に仕事を依頼することも多くなることから、専門業者に対する安全指導のルール化が必要になると考え、ITEAでは、元請として安全作業遂行を監理すべき内容を明確化した安全指導マニュアルを作成していると述べました。

次に、「施工現場における安全の取組み」および「基本動作を徹底するために」として、基本動作を徹底することで安全を確保することが必要であるが、なかなか実行できていないという現実、いざ事故が起きた時に振り返ると基本動作の徹底ができていなかったと残念に感じていると述べました。そこで、基本動作を徹底するためにはどうしたらよいか考えると、危険を「危険」と感じる感性を磨く、あるいは錆びつかせないということが大切であると述べました。その上で安全を達成するためには、全員参加による安全の確保・確立が大事であり、作業員、マネージャ、現場代理人などを含めたすべての人がプロ意識・責任意識を徹底すること、リーダーは自らがきちんと行動して仲間の命を守ることが必要だと述べました。また、ひとつ事故が起こると次から次へと安全施策が増えるが、そういったことがかえって負担になり身動きがとれなくなってしまうとし、時間はかかるが、身に付いた安全施策などは棚卸をし、悪循環から抜け出せるような方向を目指していきたいと述べました。

次に、「全ての職場・全ての業務における安全への取組み」について、事故が起こると施工現場や作業員の行動ばかりが注目されるが、事故は施工現場だけではなくせないと考えているとし、事故は施工現場での直接的な原因分析がされ対策を練

るが、上流工程である現場調査や設計、あるいは後処理、そして組織や職場の風土、トップの姿勢等、すべての人・業務に関わっている問題だと述べました。そのため、事故を撲滅するには1人ひとりがプロとして責任のある仕事を確実に実施すること。すべての業務・職場において1人ひとりがそういった行動ができた時に、初めて安全文化というものがあると思っていると述べています。

最後に、事故を撲滅するには1人ひとりが意識して地道な取組みを継続することが必要と述べ、「皆さん1人ひとりの感性で危険を認識し、基本動作を徹底することで信越から人身事故・設備事故を撲滅させられるよう積極的な行動を期待しています。」と締め括りました。

来賓挨拶

来賓を代表してNTT東日本ネットワーク事業推進本部エンジニアリング部エンジニアリング部門長 小林 博文様からご挨拶をいただきました（写真3）。

まず、東日本エリアにおける人身事故発生状況の説明として、重篤な人身事故が後を絶たない状況であるとし、重篤な人身事故につながる「転落、逸走」と「道路横断、感電、酸欠」に重点をおいて取り組んでいきたいと説明されました。

また、ICTを活用した安全の見える化・改善活動についてご説明され、



写真3 来賓挨拶

日々の仕事の中で、重篤な人身事故につながる危険箇所は何か、どう対処するかを自ら考え実行し、現場の全景を映像として記録し、映像を活用した振り返りや、小集団活動を通じた改善活動を展開することで、新たな安全文化の創造を目指していきたいとご説明されました。

最後に、現場第一線との意見交換会を平成29年度から実施しており、寄せられた意見や要望は契約・制度の見直しに反映したいと説明されました。

特別講演

長野会場では「NTT東日本の事業動向について」と題してNTT東日本長野支店長 岩井 修様から、新潟会場では「NTT東日本の事業動向と安全への取り組み」と題して、NTT東日本新潟支店長 飯塚 智様からご講演をいただきました(写真4・5)。

岩井支店長様、飯塚支店長様ともに、「NTT東日本の事業動向」について述べられました。

また、岩井支店長様からは、「建

設業界の取り巻く環境」、飯塚支店長様からは「安全への取り組み」についてもご説明を頂戴いたしました。

安全講演

今年度からの新たな取り組みとして、外部講師による安全講演を実施しました。講師は「安全と人づくりサポート」代表の古澤 登様にお願しいし、『元気な職場をつくる実践的安全活動～重篤災害に的を絞った活動～モノづくりは人づくり～』と題して現場目線に立った内容でご講演をいただきました(写真6)。

<古澤 登様プロフィール>

トヨタ自動車(株)安全衛生推進部所属後、一貫して安全衛生活動の全社統括を担当し各種活動を確立。トヨタグループ等関係会社、および多くの企業へ活動を展開し企業体質強化に寄与した。同部担当部長を経て、平成16年菱栄(りょうえい)工機(株)に転籍、代表取締役専務、技監を経て、平成23年3月退社。同時に安全と人づくりサポートを立ち上げ、代表。

安全と人づくりサポート代表として現場目線の熱い心で、安全衛生活動を通じた元気な人づくり、職場づくりの講演や現場指導を行っている。

危険体感デモンストレーション

前回大会より引続き実施した、「バーチャル・リアリティ(VR)体感」を実演し、『昇柱作業』を体感しました(写真7～10)。

ステージで体感していただく方々にはバーチャル体感を通じて、潜む危険を察知できる能力を身につけていただきました。

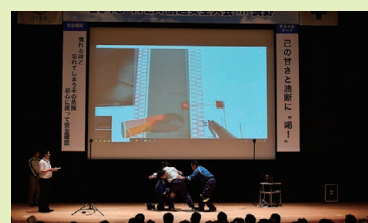


写真7 危険体感 ステージ(長野)



写真8 危険体感 ステージ(新潟)



写真9 危険体感 エントランス
NTT東日本一関信越長野様

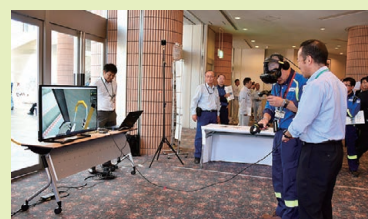


写真10 危険体感 エントランス
NTT東日本一関信越新潟様



写真4 NTT長野支店 岩井支店長



写真5 NTT新潟支店 飯塚支店長



写真6 安全講演

また、より多くの方々に体感していただくため、ステージでのプログラム以外に、NTT東日本一関信越様よりエントランスにおいて体感ブースを設けていただき、多くの方に体感していただくことができました。

安全ビデオ視聴

昨年度に引き続き、『忘れてはならない重大人身事故』

ここ数年で発生した、決して忘れてはならない重大人身事故の事例を再現した安全ビデオをNTT東日本様、NTT西日本様からお借りし、「転落（グレーチング）」、「バケット車操作誤り」、「荷崩れ」、「転落（道路横断架渉）」の4コンテンツを視聴しました。この映像から、基本動作を徹底すること、現場での危険を事前に感じる感性を育てることを基本とし全員が安全に関する意識を改革していかなければならないと改めて感じました。

安全標語表彰

優秀作品に選出された「慣れるほど 忘れてしまうその危険 初心に戻って安全確認（長野大会）」「その作業 いったん止まって危険予知 気づかぬ危険が見えてくる（新潟大会）」をお作りになられた協力会社社員の方々へ小川支部長より感謝状と記念品の贈呈が行われました（写真11・12）。

ゼロ災の決意表明・安全唱和

大会の結びとして、協力会社代表によるゼロ災の決意表明、参加者全員による安全唱和を行いました（写真13～15）。協力会社代表による決



写真11 安全標語表彰
(株サンユウ・エンジニアリング 大日方 浩さん)



写真12 安全標語表彰
(日本海通信建設(株) 丸山 康博さん)



写真13 決意表明
(日本コムシス(株) 柳平 隆喜さん)



写真14 決意表明
(株トーシス新潟 目黒 浩晃さん)



写真15 安全唱和

意表明は、

「2018 ITEA信越安全大会in新潟にお集まりの皆様、ご来賓のNTTグループの皆様、今、信越エリアにおいても、IoT化の進展やクラウド化および5Gの導入により、光ファイバ網の統合運用とWi-Fiの有機的な利活用が進められております。

これら新時代のサービス、インフラを構築する工事を安全に完了させるために、私たちは本日の安全大会でご講演いただいた内容や改善に向けた展示の思いを十分に理解し、自分のものとして職場に展開していくことが責務であり、多くの仲間達に伝えていく事が大切です。

全国的にも重大な事故が多発している中、信越エリアにおいては人身・設備事故は発生していませんが、私たちは今までの事故事例を自分の身に置き換え、再発防止対策を確実に実施し、NTTグループ各社の皆様、さらには、お客様の信頼を回復するために、次のことを守り作業を進めます。

- ・一つ 「安全は全てに優先する」を胸に基本動作を守って安全第一で作業します。
- ・一つ お客様に大満足して頂けるよう日々CS向上に努めます。
- ・一つ 良き企業人 良き社会人として コンプライアンス遵守に努めます。

以上、信越エリアにおける人身事故・設備事故・セキュリティ事故0（ゼロ）を達成するため全員一丸となって取り組んで参ります。」

という力強い宣言をし、最後に大会スローガンを読み上げゼロ災の決意表明としました。

安全・VE展示

NTT東日本 技術協力センタ様、NTT東日本一関信越様、NTT REC様、アイチコーポレーション様、日野自動車(株)様、北日本防食様、ジャパンリーコム様、住電オプコム様、高千穂産業様、トーツー創研様、日鐵住金建材様、日本通信電材様、ミドリ安全様、資材リンコム様、イワブチ(株)様、古河電気工業(株)様、通建会社5社が、作業性改善、安全・品質向上につながる提案品を展示しました（写真16～19）。展示コーナーでは、各社VE提案品に直接触れて説明を聞くことにより、参加者は安全・品質改善取組みの重要性について再認識することができました。

終わりに本安全大会の開催にあたりご協力をいただいたNTTグループ・通建各社の皆様に厚く御礼申し上げます。



写真16 展示コーナー
(NTTレンタル・エンジニアリング)
光ファイバ小型心線対照器 (FID-30R)



写真18 展示コーナー (資材リンコム)
USB 充電式ポータブルLED ライト
「どこでもおてがるライト」



写真17 展示コーナー (トーツー創研)
ブン鳥君



写真19 展示コーナー
(NTTレンタル・エンジニアリング)
地中探査レーダー (TR-1)